

くらしサポート歩行車 スムーディ〈室内用〉	PN-L70201
-----------------------	-----------



- 本書は、製品を貸出福祉用具としてご使用いただくうえで、製品の点検や整備および検査など、メンテナンス作業を実施する上でのマニュアルです。
- 修理や部品交換の手順に関しては、製品サービスガイドをご参照ください。

特徴

発売年月

令和 5 年 8 月

住まいでの暮らしの安心と生活範囲を広げるスムーディ〈室内用〉 カジサポ

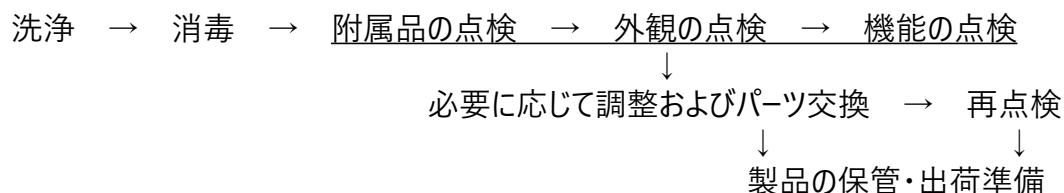
目次

製品の取り扱いの留意点	: 2	ブレーキ調整	: 15
点検・修理の必要工具	: 2	保管方法	: 16
商品の構成部品・名称	: 3	メンテナンス チェックシート	: 17
洗浄方法	: 4	部品展開図と部品表	: 18
附属品と外観	: 6		
機能の点検	: 11		

メンテナンス作業の留意点

このメンテナンスマニュアルをよくお読みいただき、十分ご理解の上、作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は保証いたしかねます。

メンテナンス作業を行う際には、メンテナンスチェックシート（P 17）をご活用ください。
メンテナンス中に異常が見つかった場合は、交換部品を取り寄せて補修いただいた上で、
再度メンテナンスチェックシートにて確認してください。



メンテナンス、修理、部品交換に関連資料

- ・取扱説明書（製品に附属）
- ・メンテナンスマニュアル（本書）
- ・メンテナンスチェックシート（本書）
- ・サービスガイド

点検・修理の必要工具



スパナ

8mm、10mm、13mm、
19mm



六角レンチ

3mm、4mm、5mm、6mm



ソケットレンチ 19mm



Eリングプライヤー



プラスドライバー



プラスチックハンマー



柔らかい布



手袋



カッターナイフ



無水エタノール

※推奨締結トルク

M4 : 1.5 N・m

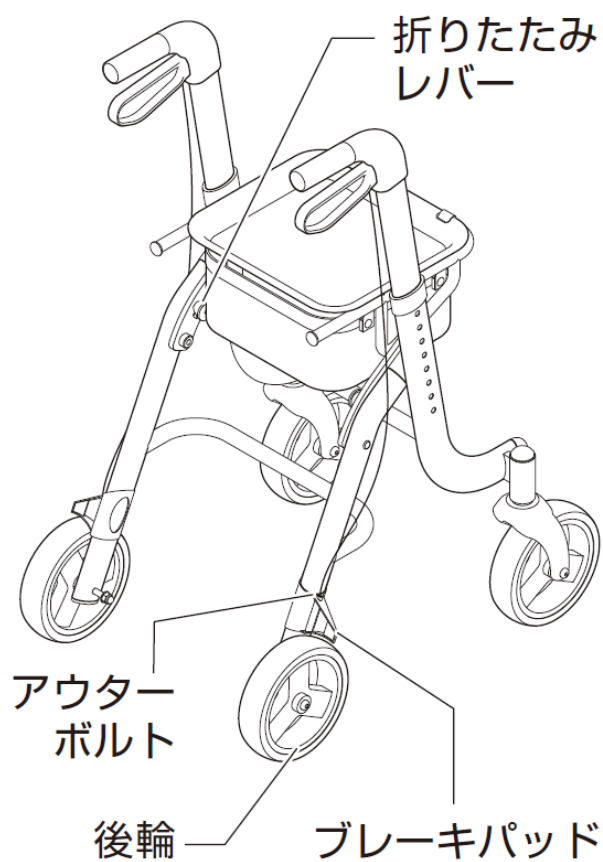
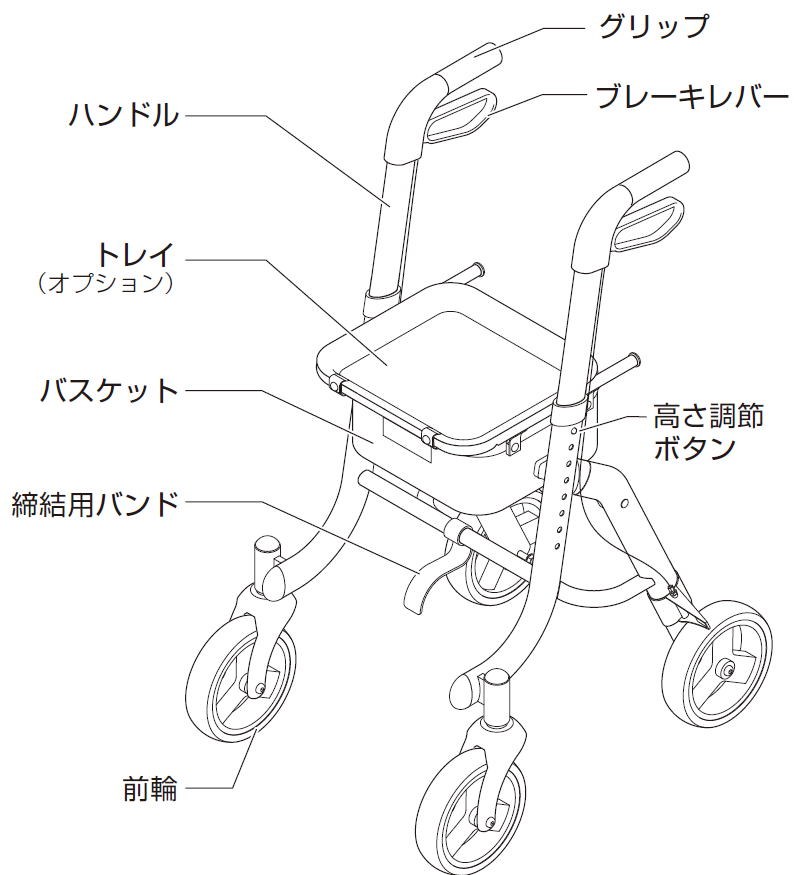
M5 : 2.0 N・m

M6 : 2.0 N・m

M8 : 10.0 N・m

M10 : 20.0 N・m

商品の構成部品・名称



洗浄方法

1. はじめに

消毒前に、必ず洗浄し汚れを落としてください。

汚れを落とさず、消毒すると消毒後に汚れから雑菌が繁殖する恐れがあります。

■洗浄液について

- ・できるだけ中性洗剤をご使用ください。
- ・オレンジクリーナーなど**アルカリ性洗剤は、ウレタンやゴム類の脱脂効果が強い**ため、**使用した場合は、すぐに洗剤成分を洗い流してください。**



2. 洗浄の注意点

【清拭】

原則、お手入れは清拭してください。

本製品は洗浄を繰り返すと、フレームの錆びやプラスチックおよびゴム部品の劣化が早まりますので、できるだけ長くお使いいただくために、以下の方法で洗浄する場合は、十分にご注意ください。

【高圧洗浄機】

バッグやシート、ラベルに高圧の水が掛かると、キズや剥がれの原因となります。

洗浄ノズルを近い位置から当てる、長時間連続して当てるなどを避けて洗浄してください。

マジックリンなど中性洗剤以外で洗浄する場合、部品内部などに**洗剤成分が残らないように水洗いを行い、エアブローやふき取りを十分に行ってください。**

禁止：シンナー・ベンジンなど揮発性の溶剤、みがき粉は使用しないでください。

【自動洗浄機】

専用の設備で洗浄する場合、取り外しが必要な部品や部品の固定方法など、あらかじめ洗浄テストを行うようにしてください。

【高温水の使用】

部品に当てる温度を60度以下になるようにしてください。

温度が高すぎると、部品類の劣化が早まり破損する恐れがあります。

10分以上の長い時間、高温水触れないようにしてください。

洗浄後は、パイプ内部に水が残っていないか、製品を傾けて確認してください。

洗浄によってパイプ内に水が入り込んだ水分は、エアブローやふき取りにより、水滴をある程度飛ばしたうえで、乾燥するようにしてください。

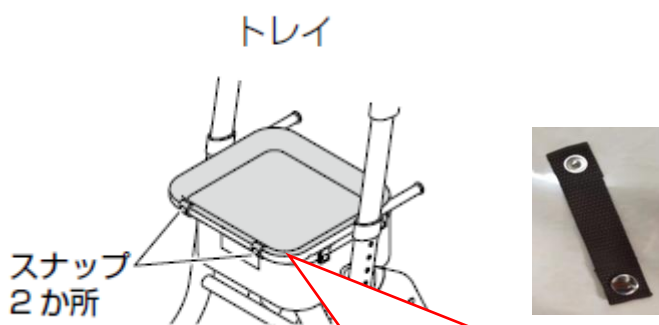
洗浄方法

3. 洗浄ポイント

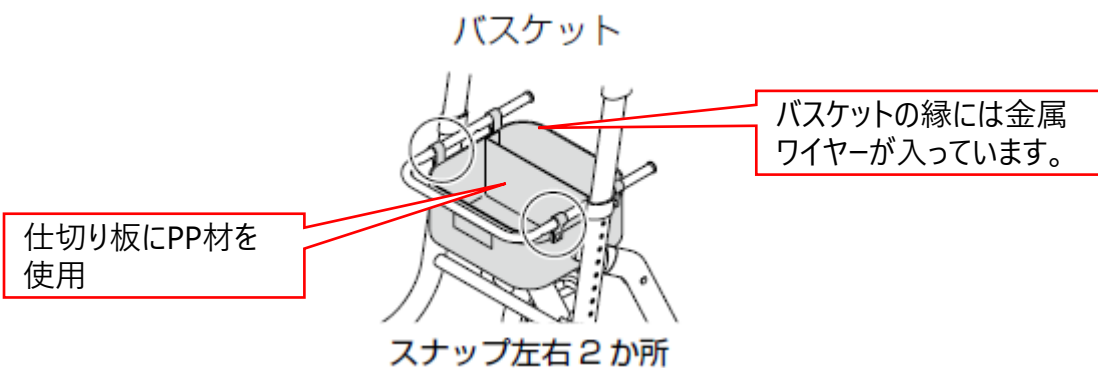
前輪、後輪およびブレーキパッドなど、脚回りには汚れが溜まりやすいです。
小さなすき間や各部ネジ取り付け箇所など樹脂ブラシなどを用いると洗浄しやすいです。

フレームに付着した汚れ落としにメラミンスポンジを使用する場合、強く擦りすぎると塗装剥げの原因となるため、十分に注意して洗浄してください。

トレイ、バスケットは取り外すことが可能です。
取り外して個別に洗浄できますが、バスケット内部には金属ワイヤーやPP板を使用していますので、洗濯機などを使用した洗浄は避けてください。



トレイ締結バンド(スナップ)を取りはずす場合、なくさないように注意してください。



附属品の点検

【取扱説明書】

1. 取扱説明書の有無

取扱説明書の有無を確認してください。

※取扱説明書は、弊社ホームページからダウンロードすることが可能です。

2. 取扱説明書の状態

取扱説明書に破れや汚れなど、目立った劣化がないか確認してください。

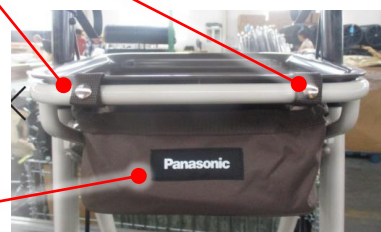


【トレイ】

1. トレイに欠けが割れないことを確認してください。

2. トレイがスナップ2つで固定されていることを確認してください。

スナップボタンがゆるくなったらP 7 の修理をお試ください。



【バスケット】

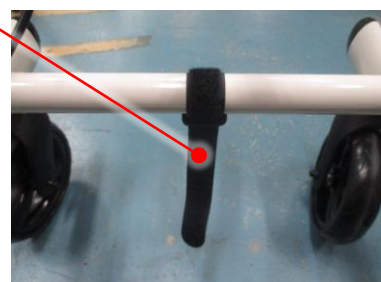
1. バスケット前面のロゴに破れやほつれがないことを確認してください。

2. 仕切り板の品番表示等に破れやほつれがないことを確認してください。



【締結バンド】

1. 前フレームに締結バンドが取り付けられていることを確認してください。



附属品の点検

【メンテナンスポイント】 ゆるくなったスナップボタンの修理

- ・スナップボタンは繰り返しの使用や、無理に着脱されることによって、ボタンを止める力（スナップ力）が下がってきます。

下記の方法で比較的簡単にスナップ力を改善できることがあります。

※修理は商品をできるだけ長く使うための応急的な対応となります。

改善できない場合や効果が薄い場合は新しいものに交換が必要です。

■メス(凹)ボタンを修理する。

凹ボタンには平行なバネがあり、バネが引っ込んでいたり変形していたりして、バネ同士の間隔が広い場合、凸ボタンの突起が固定できず、閉めても外れやすい状態になります。



凹ボタン

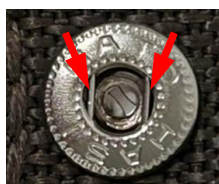


スナップボタンのバネ構造



凸ボタン

- ①凹ボタンのバネのすき間にマイナスドライバー(1.4～2mmの精密ドライバー)を差し込みます。
- ②差し込んだマイナスドライバーにて、すき間を調整します。
- ③バネが正しい位置に戻ると突起を固定できるようになり、スナップ力が改善されます。



外観の点検

【本体フレーム】

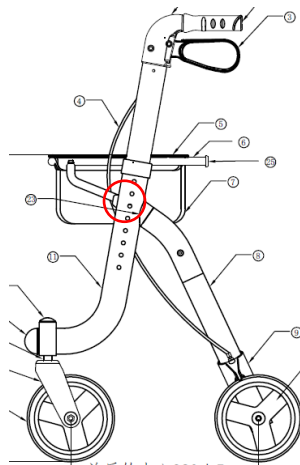
1. 本体フレームに欠けや深い傷がないか確認してください。
2. 本体フレームの塗装に剥がれがないか確認してください。

傷や塗装剥がれが目立つ場合は、「塗装用塗料」にて目立たないように補修してください。
(補修用塗料はタッチペンタイプとスプレータイプがあります。詳細はサービスガイドを参照ください)

3. フレームの溶接部に欠けやグラツキがないことを確認してください。
(必要に応じてトレイやバスケットを取り外し、点検箇所を見やすくしてください。)

欠けやグラツキ、溶接外れがある場合は、交換・修理をしてください。(サービスガイドを参照)

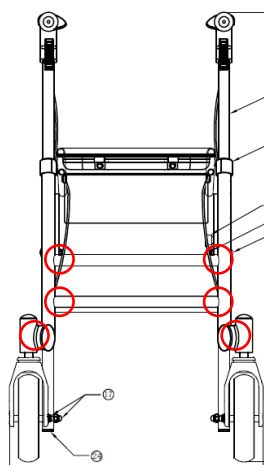
○：溶接確認



前フレーム溶接部
(ハンドル部の内側)



前輪キャスター軸



左右のフレーム連結部



外観の点検

【樹脂部品】

1. グリップに傷、バリ、割れがないか確認してください。
グリップが容易に回転しないか、取り付け角度が左右で一致しているか確認してください。

グリップに異常があるときは、グリップを交換してください。
(サービスガイドP 9 を参照)

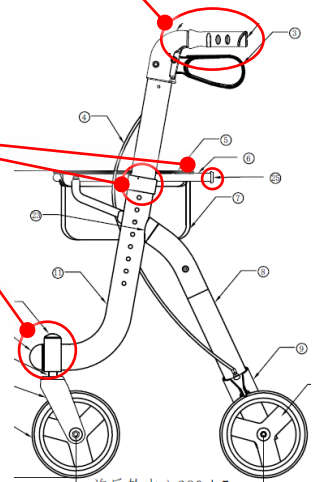
グリップが回転してしまう場合は、グリップを一度引き抜き、
接着剤で固定してください。
(推奨接着剤：セメダイン スーパーX)



2. 各樹脂部品に傷、バリ、割れがないか確認してください。

【ネジ・ボルト】

1. 各樹脂部品のネジ・ボルトに不足がないか確認してください。
2. ネジ・ボルトにバリがないか確認してください。
3. ネジ・ボルト頭に塗装剥げがないか確認してください。



塗装剥がれが目立つ場合は、素地が隠れるよう、「塗装用塗料」にて補修してください。
見た目だけでなく、ネジ・ボルトの錆び防止になります。

■ハンドルユニットを構成するボルト類に錆びが見られる場合

ハンドルユニットを構成するボルト、ナット、高さ調整ボタンに
錆びが見られる場合は、ハンドルユニット内部部品の錆びに
より、使用中にハンドルが意図せず落下することを防ぐため、
ハンドルユニットを交換してください。

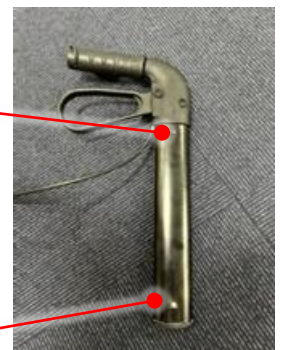
※ハンドルユニットを構成するボルト、ナット、高さ調整ボタン
は、上記安全上の理由から補修部品設定をしていません。



ボルト
ナット



高さ調整ボタン



外観の点検

【バネ】

1. ブレーキ制御バネに、外れや折れ、錆びがないか確認してください。
バネが伸びてバネにガタツキが生じていないか確認してください。

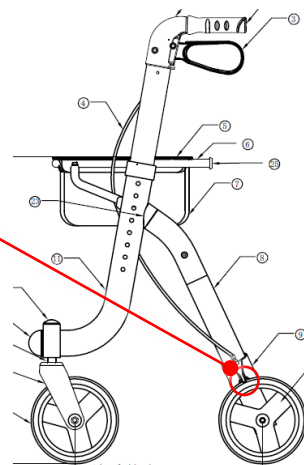
バネに異常がある場合は、バネ交換をしてください。
(サービスガイドP 14 を参照)

【ブレーキ制御バネ】

- － 後輪のキャスター取り付けボルトの上部のボルトを緩めます。
- － ワイヤーを上を引き抜きます。



- － バネを交換します。
- － バネにワイヤーを通しながら、ブレーキ調整を行います。

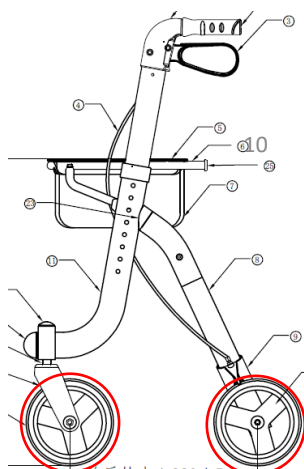


【前輪・後輪】

1. タイヤの減り、けずれ、凹凸状態

交換推奨となる目安

- ： タイヤ表面のパターンの先端部が削れて見えなくなっている。
- ： 駐車ブレーキを解除後、1時間程度経過しても
タイヤにブレーキ跡が消えず、走行中にガタガタとする。



機能の点検

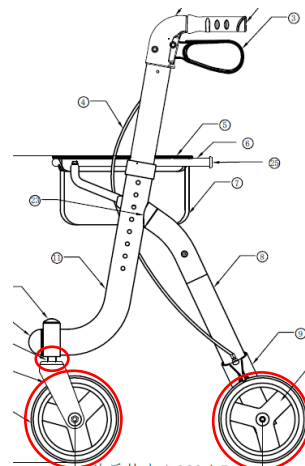
【前輪・後輪】

1. 前輪：車輪軸回転、タイヤ回転

本体を持ち上げた状態で、車輪軸がスムーズに回転することを確認。
タイヤがスムーズに回転することを確認。

2. 後輪：タイヤ回転

本体を持ち上げた状態で、タイヤがスムーズに回転することを確認。
※タイヤは、軽く回したときに、2回転程度すれば問題ありません。



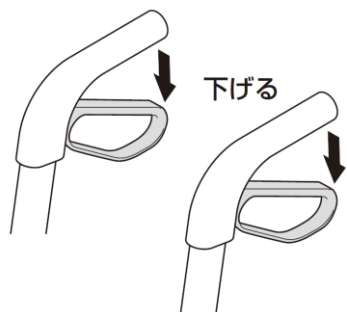
車輪軸やタイヤの回転がスムーズでない場合、髪の毛や糸くずが絡まっているか確認してください。

髪の毛や糸くずが絡まっている場合、ピンセットなどで取り除くか、タイヤを取り外して清掃を行ってください。

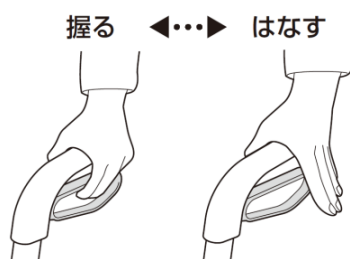
機能の点検

【駐車ブレーキ】

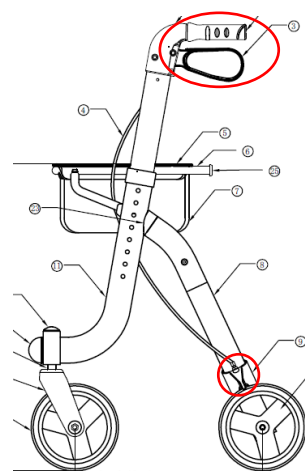
1. ブレーキレバーを下に押し下げたとき、後輪が回転しないことを確認してください。



駐車ブレーキ操作



制動ブレーキ操作



【ブレーキワイヤー・ブレーキパッド】

1. ブレーキワイヤーの通す位置が正しいか、確認してください。



トレイを受けるフレームの
口の字部分を通る



前後フレームの間を
内から外へ通る

通す位置に異常がある場合は、ブレーキパッドからワイヤーを取り外し、正しい配置となるようにワイヤーを通してください。

2. ブレーキパッドに外れがないか確認してください。
ブレーキパッドに欠けや変形がないか確認してください。

異常がある場合は、後輪を外し、ブレーキパッドの交換を行ってください。
(サービスガイドP 14を参照)



機能の点検

【制動ブレーキ】

1. ハンドル高さを最大にしてください。

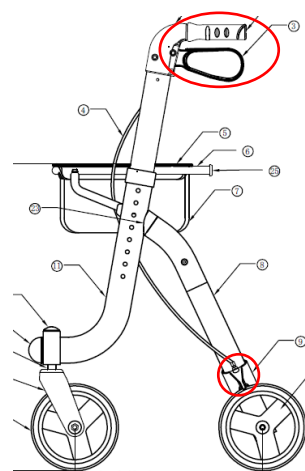
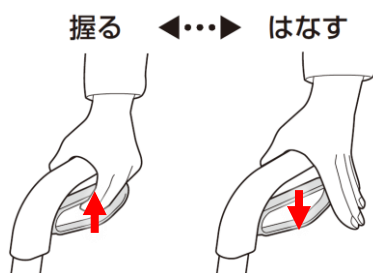
ハンドル高さによって、ブレーキの利き具合に差が生じます。

ハンドル高さが最大するとき、もっともブレーキが利きにくい条件となります。

2. グリップとブレーキレバーを握り、後輪の回転を確認してください。

ハンドルとブレーキレバーとの間が1cm未満でもブレーキの利き始めがない場合は、ブレーキの利きが小さい状態です。

ブレーキ調整（本書P 14）を行ってください。



3. ハンドル高さを最低にしてください。

ハンドル高さが最低するとき、もっともブレーキが利きやすい条件となります。

4. 後輪を回転させたとき、後輪がスムーズに回転しているか、擦れ音がしないか確認してください。

グリップとブレーキレバーを握り、後輪の回転を確認してください。

後輪がスムーズに回転しない、擦れ音がする場合は、ブレーキ調整（本書P 14）を行ってください。

【メンテナンスポイント】 ハンドル高さとブレーキ性能

- ・ハンドル高さによって、ブレーキの利き具合は変化します。
- ・ブレーキ調整する際は、調整時のハンドルの高さに注意してください。

	ハンドル高く設定	ハンドル低く設定
制動(駐車)ブレーキの利き	利きにくい	利きやすい
ブレーキレバー操作力	軽い	重い
ブレーキパッドとタイヤとのすき間(標準寸法)	大きい(約4mm)	小さい(約3mm)

機能の点検

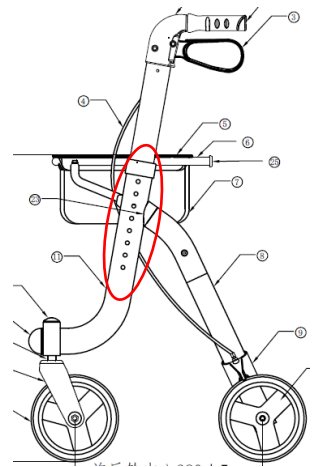
【ハンドル高さ調整】

1. ハンドル高さ摺動：高さ調整

ハンドル部のボタンを押しながら、ハンドルを上下させてください。
ボタンの押下ができ、高さ調整ができることを確認してください。

2. 固定状態

いずれの高さでも、穴からボタンが飛び出し、ハンドル高さが固定できることを確認してください。



ブレーキ調整

【ブレーキの操作力を調整する】

1. 駐車ブレーキを解除してください。

2. ハンドル高さを最大にします。

3. アウターボルトを回し、アウターボルトがブレーキパッドから2~3mm離れた位置に調整してください。

アウターボルトはご利用者様にブレーキの利きを調整していただくため、固くも、ゆるくもできる位置に合わせるようにしてください。

4. 内側の六角ナットをレンチで固定しながら、外側のボルトをゆるめてください。

5. タイヤとブレーキパッドのすき間が約4-5mmとなるように高さを調整してください。

※タイヤとブレーキパッドの間に4mmのレンチなどを差し込みながら作業を行うと調整が容易に可能となります。

6. ブレーキワイヤーの先端部をペンチなどで掴み、下方へ引っ張ってください。

7. 六角ナットを固定しながら、外側ボルトを締めてください。

※調整後は、駐車ブレーキおよび制動ブレーキの機能の点検を実施してください。

使用工具



ペンチ



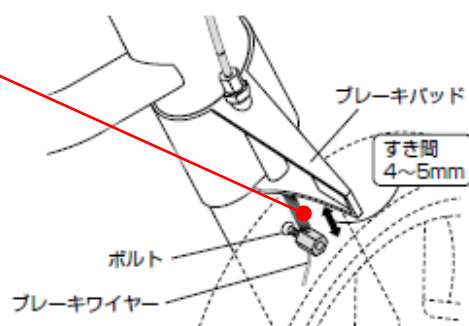
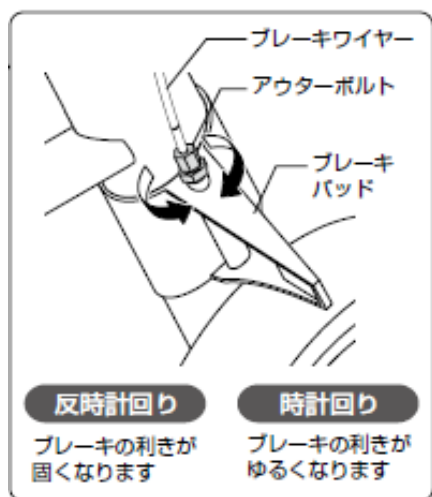
スパナ

8mm



六角レンチ

3mm



ハンドル高さによって、ブレーキの利き具合は変化します。
ブレーキ調整する際は、ハンドル高さを最大にして調整されることをお勧めします。(本書P 1 2)

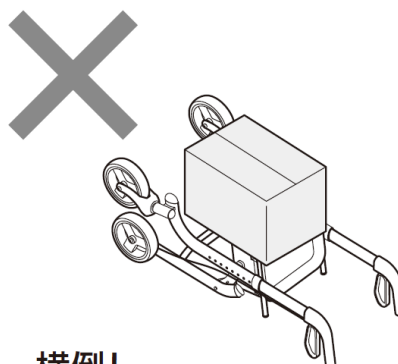
保管方法

1. 保管は直射日光の当たらない、湿気のない場所で保管してください。
2. 保管時には製品の横倒しにせず、立てて保管してください。

折りたたんだ状態で保管する場合は、締結用バンドで固定してください。



折りたたんで保管



横倒し、
荷重をかけたまま保管

3. 駐車ブレーキは解除した状態で保管してください。

駐車ブレーキを掛けたまま長時間保管しないでください。

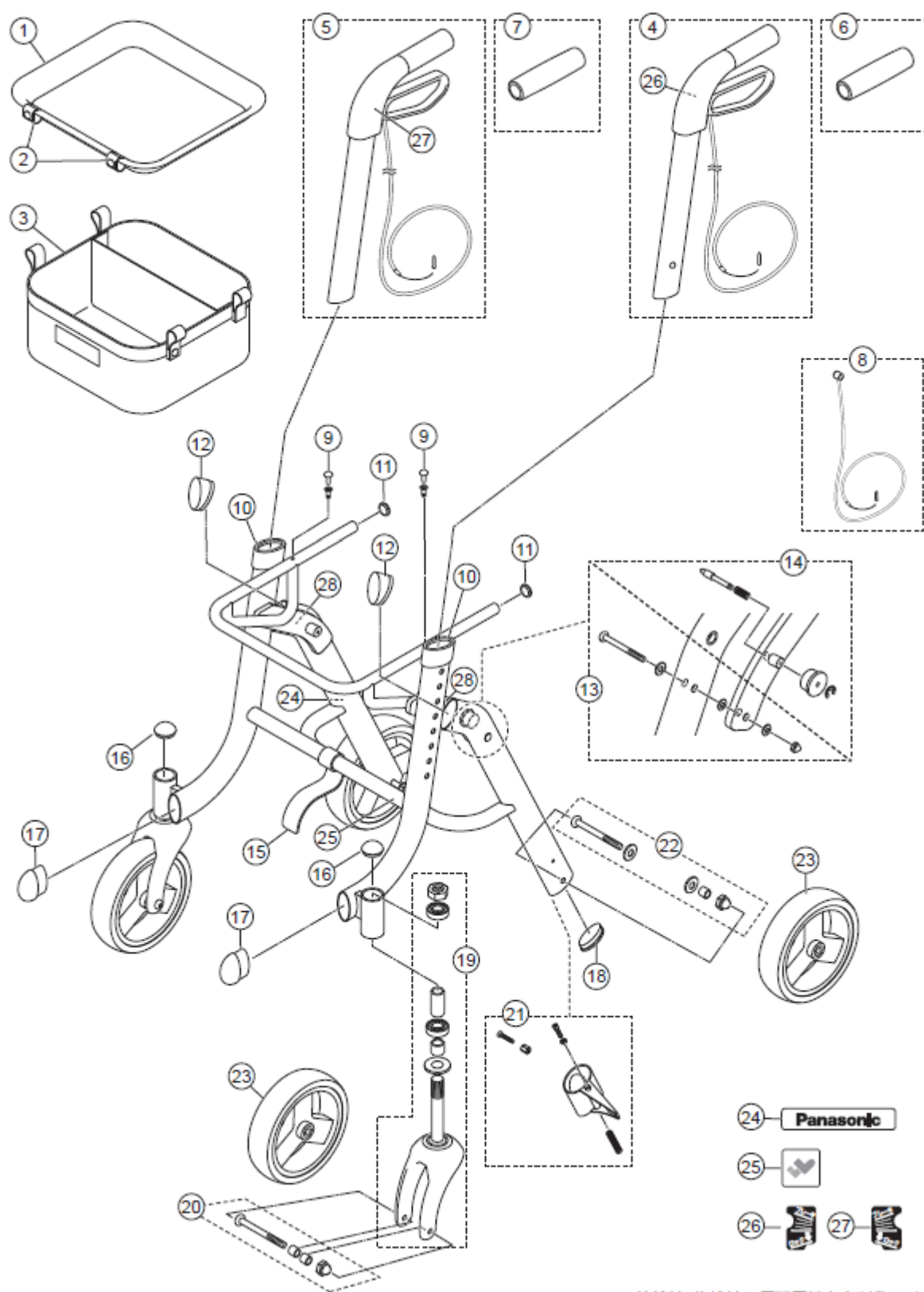
後輪タイヤにブレーキパッドの跡が残り、走行時に影響が出てしまう恐れがあります。



メンテナンス チェックシート

NO.	項目		内容	結果	交換部品 メモ
1	洗浄		汚れが残っていないか。 清掃水が残っていないか。		
2	附属品		取扱説明書が附属されているか。 トレイが取り付けられているか。 バスケットが取り付けられているか。 締結用バンドが取り付けられているか。		
3	外 観	フレーム	傷や塗装剥がれ、錆がないか。		
4		樹脂部品	割れや変形がないか。		
5		ネジ・ボルト・バネ	取り付け忘れや締め付け忘れがないか。 錆びが発生していないか。		
6		前輪・後輪	減り、けずれ、凹凸がないか。		
7	機 能	前輪・後輪	タイヤはスムーズに回転するか。		
8		駐車ブレーキ	後輪がロックできるか。		
9		制動ブレーキ	ワイヤーの通す位置は正しいか。 後輪がロックできるか。		
10		ハンドル高さ調整	高さ調整がスムーズにできるか。 ハンドルが固定されるか。		

部品展開図



※前輪軸、後輪軸の展開図は左右対称です。

部品表

この価格に表示されている表示価格は消費税抜きです。

図面 番号	品名	ご注文品番	箱入数	希望小売価格 (税抜)	摘要・備考	1台 個数
1	トレイ	PN-L7020101P	1	2,800		1
2	トレイ締結バンドセット	PN-L7020102P	2	900	L/R共通	1
3	バスケット	PN-L7020103P	1	2,500		1
4	ハンドルユニット(L)	PN-L7020104P	1	2,800	グリップ・ブレーキ ワイヤー・ねじ含む	1
5	ハンドルユニット(R)	PN-L7020105P	1	2,800	グリップ・ブレーキ ワイヤー・ねじ含む	1
6	グリップ(L)	PN-L7020106P	1	1,400		1
7	グリップ(R)	PN-L7020107P	1	1,400		1
8	ブレーキワイヤーセット	PN-L7020108P	1	1,200	L/R共通	2
9	樹脂リベットセット	PN-L7020109P	2	600	L/R共通	1
10	前フレーム上エンドキャップ	PN-L7020110P	1	1,200	L/R共通	2
11	トレイ受けエンドキャップ	PN-L7020111P	1	1,200	L/R共通	2
12	後ろフレーム上エンドキャップ	PN-L7020112P	1	1,500	L/R共通	2
13	フレーム連結ボルトセット	PN-L7020113P	1	1,000	L/R共通	2
14	折りたたみレバーセット	PN-L7020114P	1	1,500		1
15	締結バンド	PN-L7020115P	1	1,000		1
16	前輪フォークキャップ	PN-L7020116P	1	800	L/R共通	2
17	前フレーム下エンドキャップ	PN-L7020117P	1	1,400	L/R共通	2
18	後ろフレーム下エンドキャップ	PN-L7020118P	1	1,400	L/R共通	2
19	カスターフォークセット	PN-L7020119P	1	3,000	L/R共通	2
20	前輪軸セット	PN-L7020120P	1	1,000	L/R共通	2
21	ブレーキパッドセット	PN-L7020121P	1	1,200	L/R共通	2
22	後輪軸セット	PN-L7020122P	1	1,200	L/R共通	2
23	車輪	PN-L7020123P	1	2,000	前・後共通	4
24	Panasonic ロゴラベル	PN-L7020191P	1	600		1
25	モノロゴラベル	PN-L7020192P	1	500		1
26	ブレーキレバーラベル(L)	PN-L7020193P	1	600		1
27	ブレーキレバーラベル(R)	PN-L7020194P	1	600		1
28	指はさみ注意ラベル	PN-L7020195P	1	600	L/R共通	2
29	外装箱	PN-L7020196P	1	3,000		1
30	補修用塗料(タッチペン)	PN-L7020197P	1	3,500		—
31	補修用塗料(スプレー)	PN-L7020198P	1	3,000		—

※修理のみ対応

32	ナッター	PN-L7020150P	1	150	技術料、送料は別途 いただきます	1
----	------	--------------	---	-----	---------------------	---

※2026年10月現在の価格です。

ご注文の際は、サービスガイドより最新のものをご確認ください。

パナソニック エイジフリー 株式会社
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地